

小中学生の部

タツノユウ賞

お母さんの気遣い

長野県山ノ内中学校三年

渡邊紗雪

学校へ行く前の、朝食のおにぎり。いつも私があきないように毎日味を変えてくれてありがとうございます。塩むすびが苦手な私のためにふりかけを使っているいろいろな味のおにぎりを作ってくれました。朝早くから起きて、家族みんなの分の朝ごはんを作り、後から起きてくる私のために、できたての状態でおにぎりを出してくれます。そして、学校で私がお腹を鳴らさないように、一回り大きめのサイズにしてくれるお母さんの気遣いが嬉しくて大好きです。

朝練へ行く前のおにぎり。練習が少し遅くから始まるので、いつも少し冷めていましたね。大会や練習試合の日は、必ず、大きいサイズのおにぎりが二つ用意されていました。一つは朝食用で、もう一つは昼食用です。お

にぎりをも一つ食べながら現地に向かいます。

試合が終わった後の昼食のおにぎりは、いつも元気をくれました。お弁当を入れてある袋を開けると海苔の香りがします。おにぎりをかじる前は「今日は何の味かな」と予想しながら食べます。

大会や練習試合の前日には、絶対勝てるようにと、お母さんの手作りのカツ丼の日が多かったですね。少し甘くて濃いめのカツ丼を食べて、いつも「明日、頑張ろう」と意気込んでいました。

いつも、家族のために栄養バランスや、野菜はあるかなど、たくさん気遣っていただきありがとうございます。お母さんの食事に対する気遣いのおかげで故障もなく健康に過ごせました。今まで何も気にせず、それが当たり前なんだと思って生活してきましたが、部活が終わった今、あらためて振り返ってみると、お母さんが作ってくれたご飯に毎日支えられていることに気付きました。いつも栄養バランスのとれたおいしいご飯を作っていただけありがとうございます。これからは私までと変わらぬおいしいご飯を作ってください。たまには私も手伝います。